

WG 活動報告

23. 海外ドナーからの移植

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 一戸 辰夫	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
飯田 美奈子	愛知医科大学	造血細胞移植 振興講座
三田村 真	ザイオソフト	
東梅 友美	ミシガン大学がんセンター	血液・腫瘍内科 BMT プログラム
中瀬 浩一	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液腫瘍内科
神田 善伸	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科

② 2011 年1月末時点で承認された研究(※承認後に内容変更等で、不受理となったものは除く)

研究課題名	Principal investigator

③ 会議開催記録

日時	場所	会議内容
		現在会議はメーリングリストを利用して行っております。

④ WG の今後の活動方針・抱負など

日本骨髄移植推進財団が国際協力事業を開始した1997年以降、国内骨髄バンクに適切なドナーを得ることができない症例に対する貴重な幹細胞源として、4カ国(米国・台湾・韓国・中国)の海外骨髄バンクが利用されています。2009年末の時点で、国内におけるこれらの海外バンクを介する造血幹細胞移植の実施件数は160件を超えており、私どものワーキンググループにおいては、まず、このような海外ドナーからの移植の成績を、背景因子をマッチングさせた国内非血縁幹細胞ソースを用いた移植の成績と比較することによって、海外ドナーからの移植の利点と課題を明らかにしていきたいと考えております。また、今後は上記のような解析の結果に基づき、国内におけるドナーサーチのアルゴリズムの中に、一定の根拠に基づいて海外ドナーを位置づけることが可能となることを目標としております。